

分担研究報告書

モデル・フォーミュラリの作成

研究代表者 今井博久 東京大学医学系研究科地域医薬システム学講座
研究分担者 小池博文 横浜市立大学附属病院薬剤部
研究協力者 川邊 桂 横浜市立大学附属病院薬剤部

研究要旨

それぞれの地域で行われる地域フォーミュラリ作成をサポートすることを目的とした。地域フォーミュラリの作成は基礎資料が無い状態から開始するのであればその作業は容易ではない。基礎的で模範となる地域フォーミュラリがあれば、それを土台にそれぞれの地域事情に応じた地域フォーミュラリを作成しやすいため、本研究班によりモデル・フォーミュラリを作成し提示した。先行の幾つかのフォーミュラリを素案に再度の検討を加えてモデル・フォーミュラリ用に再構築した。その結果、19種類の医薬品薬効群のモデル・フォーミュラリを作成しパブリック・ドメインとして提示できた。地域フォーミュラリを作成する地域の担当者の作業量を軽減し比較的容易に地域事情に合わせて標準的な地域フォーミュラリを作成できるだろう。

A. 研究目的

地域フォーミュラリは市郡医師会、または一次医療圏、二次医療圏などを単位に実施されるが、これまで経験がなく基礎資料が無い状態から開始するのであればその作業は容易ではない。そこで、地域フォーミュラリの作成をサポートすることを目的としてモデル・フォーミュラリを作成した。

B. 研究方法

先行の幾つかのフォーミュラリを素案に再度の検討を加えてモデル・フォーミュラリ用に再構築した。その際には新しい情報があれば、それを採用して変更し加筆修正を加えた。研究班でも検討を加え修正を行った。

C. 研究結果

次ページに示すように19種類の医薬品薬効群のモデル・フォーミュラリを作成しパブリック・ドメインとして提示できた。

D. 考察

これらは最初から地域フォーミュラリから作成する地域の担当者の作業量を軽減し比較的容易に地域事情に合わせて標準的な地域フォーミュラリを作成できるだろう。

*作成協力者：

徳洲会薬剤部 尾形勉 出雲貴文 中村雅敏 野村浩子 高橋智

